

研推だより

江戸川区立篠崎第四小学校

研究推進委員会

令和8年4月9日（木）No.1

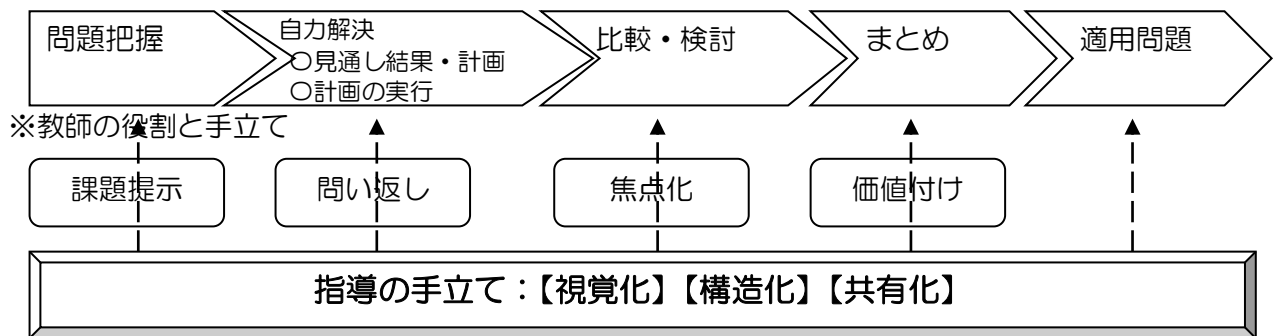
【これまでの研究】

本校では、「主体的に学習する児童の育成」を研究主題とし、令和6年度より算数科を中心に校内研究を進めています。授業におけるユニバーサルデザイン（視覚化・構造化・共有化）の実践を通して、児童が見通しをもち、自分の学習意欲や思考の深まりが見られる一方で、自力解決や対話の質の向上が課題として明らかになりました。

【本年度の研究】

これまでの成果と課題を基盤として、本年度は算数の本質的な見方・考え方を働かせながら主体的に学ぶ姿を目指します。児童の学び方を「しの四算数クエスト」として整理し、自力解決や比較・検討を重視した授業改善を進めます。友達との関わりを通して考えを深め、自ら学び続ける児童の育成を図ります。

※児童の学習過程



【校内研究構想図】

研究主題 「主体的に学習する児童の育成」

めざす児童像

「課題に向かい、自分の考えをもち、他者との関わりを通して学びを深める児童」

①課題に向かおうとする姿 ②自分の考えを理由とともにもつ姿 ③他者の考えで深める姿

研究仮説

自力解決と比較・検討を重視した学習過程を通して、

児童は課題に主体的に向かい、

自分の考えをもち、他者との関わりを通して学びを深めるようになる。

【児童の学び方】

☆しの4算数クエスト「4つのクエスト」で考える力をレベルアップ☆

【し】しらべる (課題に向かう力) 目的: 問題の状況をとらえ、やってみようとする力	【の】のこさず書く (自分の考えをつくる力) 目的: 図・式・ことばで考えを表す力
【ん】んーとふり返る (学びをつなぐ力) 目的: 今日の学びを次へつなげる力	【よ】よく聞く (比べて深める力) 目的: 友達の考えから気付く力